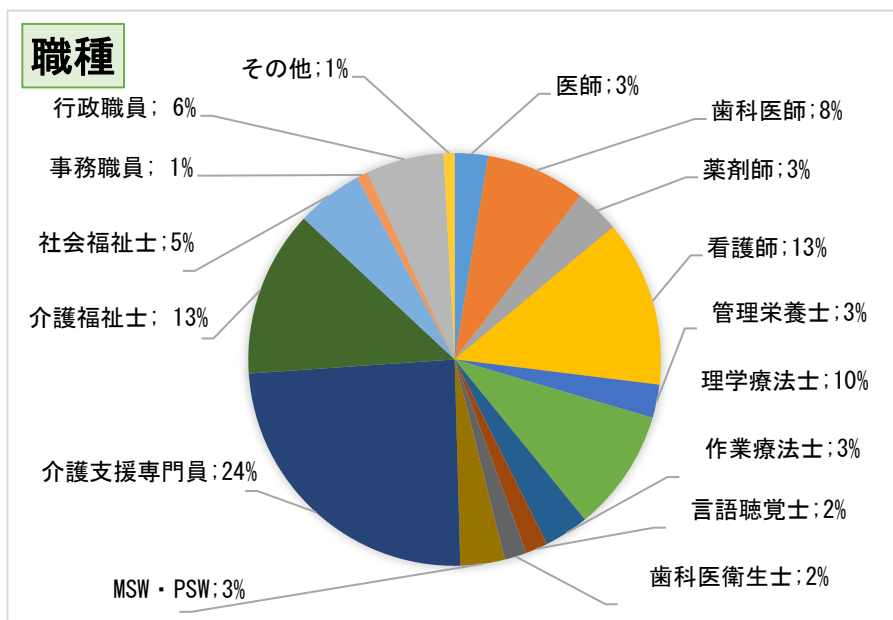


第1回 いなべ在宅医療・介護連携研究会アンケート結果（R1.7.19）

アンケート回収 115名

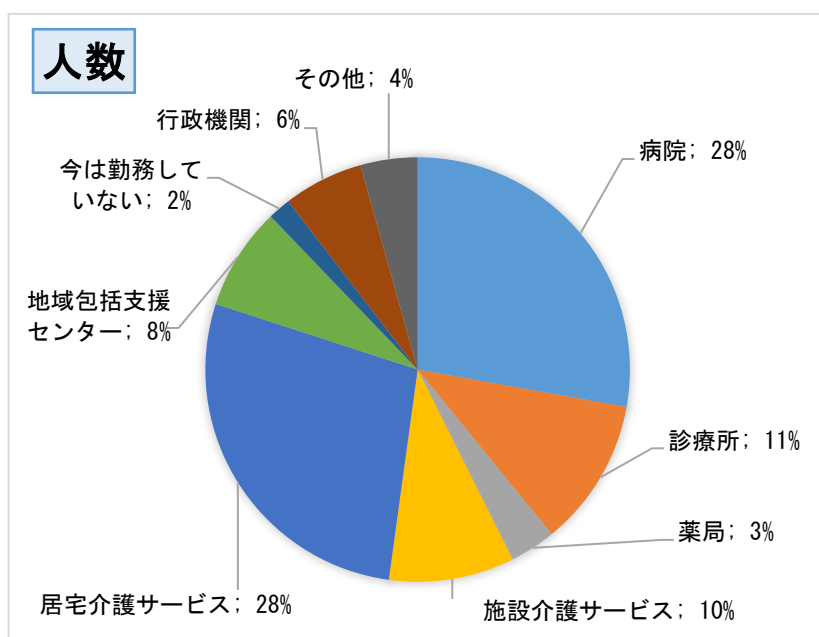
問1 職種についてお聞かせください。

職種	人数
医師	3
歯科医師	9
薬剤師	4
看護師	15
管理栄養士	3
理学療法士	11
作業療法士	4
言語聴覚士	2
歯科衛生士	2
MSW・PSW	4
介護支援専門員	28
介護福祉士	15
社会福祉士	6
事務職員	1
行政職員	7
その他	1



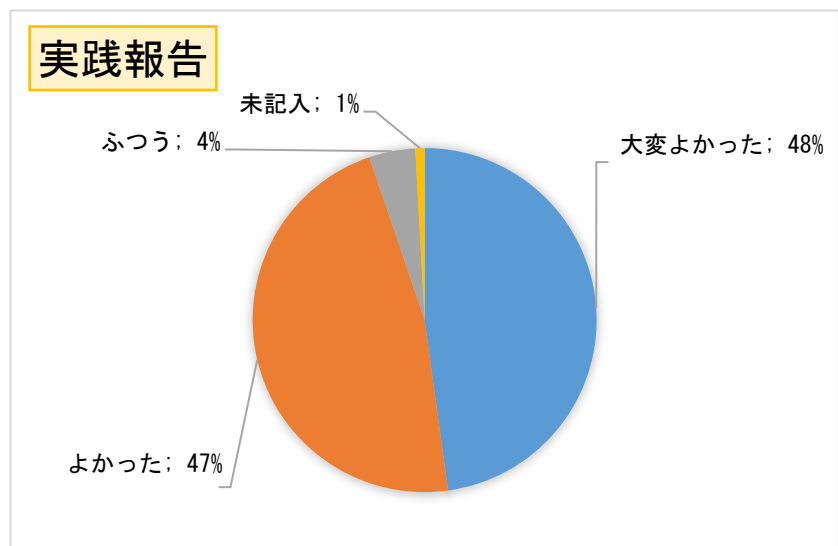
問2 所属をお聞かせください。

職種	人数
病院	32
診療所	13
薬局	4
施設介護サービス	11
居宅介護サービス	32
地域包括支援センター	9
今は勤務していない	2
行政機関	7
その他	5



問3 「チームかまいし」の実践報告はいかがでしたか？

実践報告	人数
大変よかった	55
よかった	54
ふつう	5
未記入	1



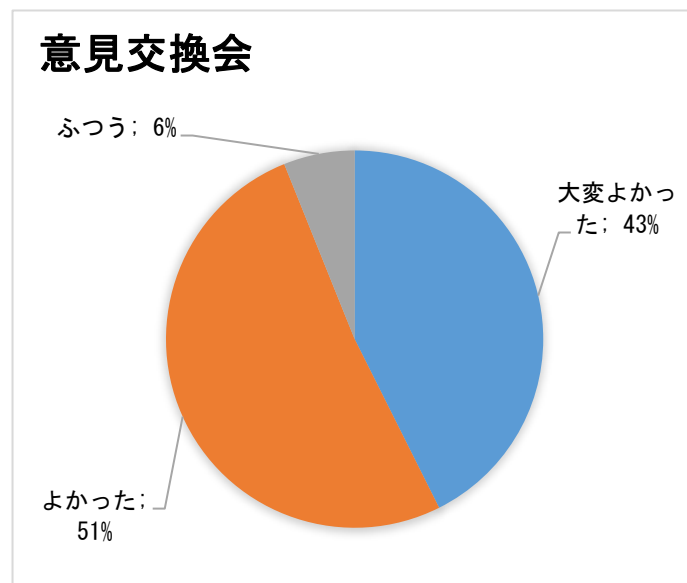
その理由としては

- ・一次、二次、三次連携へのつながり方をもっと教えていただきたかったです。
- ・もう少しかまいしチームのことをゆっくり聞きたかった。
- ・各職種に話しやすい人を作るということに感銘を受けた。自発的にする(気持ちが動く)こと、少しずつの積み重ねが関係性を作っていくものだと思う。お互いの仕事、役割を知り、できること、その人が生活しやすいようにしていくことが必要だと感じた。
- ・この地域にピッタリの内容でとてもイメージしやすかった。この地域でもできると思いました。
- ・大変力強い取り組みで成果もあげていらっしゃる。この地域の取り組みに力を入れていただきました。良い例を報告いただいたと思います。
- ・専門職同士が連携して結果を出している取り組みを聞き、この地域でももっと協働、連携ができるという希望が持てました。
- ・経験された方より話が聞き意識づけができました。
- ・課題への取り組みが連携の先にあるところが結果を生んでいると思った。
- ・自発的に行動し、主体的に取り組みを行っている所が今後の参考になったため。
- ・顔の見える関係づくりをいう考え方から、私の職場でも他職種で集まり意見交換会ができると、日々の業務がもっと豊かなものになるのではないかと感じました。
- ・チームづくりへの誰もが持つ不安、期待を共有することが大切と確認できました。
- ・今後目指すべき姿がイメージ出来て良かったです。
- ・とても理解しやすい内容であった。聞きやすい講師の先生のお話でした。
- ・とても勉強になりました。
- ・とてもよい連携(医師・薬・歯)がとれている。
- ・行政が医療機関を上手くコーディネートされ、周囲からの盛り上がりがあるように感じました。
- ・積極的に栄養士、ケアマネ、リハビリさんと連携している。
- ・取り組みが大変勉強になりました。
- ・いなべ市とは異なる釜石市の取り組みを知ることができた。
- ・チームかまいしはすごいと思いました。

- ・一次連携、二次連携という発想、取り組みが大変興味深く、いなべ郡市でもと思いました。チームワークの良さがわかった。
- ・すばらしい取り組みをされているなど感じた。
- ・一次連携、二次連携など、どうつくりあげていったかが、わかりやすく、地域づくりをする上で勉強になった。
- ・今の自分の勤務内容と少し異なるところがあり、苦手想像しにくいところもありましたが、すごく大きな取り組みですばらしいと思いました。
- ・実情が理解できた。
- ・一番難しいと思われる連携の報告として良かった。もう少しだけ介護の連携も多く聞きたかった。
- ・最初は難しく良くわからなかったのですが、途中から興味がわき連携の意がわかり、少しずつでもできればいいかなと思いました。
- ・一次連携、二次、三次連携の大切さを知れました。まずは、一次連携から取り組めたらと思いました。
- ・いなべ市地域、院内、さまざまな単位での一次連携の重要性を再認識することができた。
- ・一次連携、二次連携という形はとても分かりやすかったです。この地域でもしてほしいと思いました。
- ・コーディネーターがいて出来る事で、それができない病院はなかなか実践できるのは難しいなと思った。
- ・具体的な取り組み内容、自分たちもこういうことがしたいという思いを出すことができた。
- ・それぞれの連携の取り組みについて、ある程度理解ができた。
- ・行政から見た報告・効果の内容で新鮮だった。
- ・1次、2次、3次での取り組み、いなべ市でも取り組んでいけるといいと思います。
- ・連携コーディネートについて勉強になりました。特に二次連携の方法が印象的でした。
- ・参考になることが多くあった。
- ・薬剤師の他職種との連携の例を知る事ができた。
- ・連携において中立の立場の人がいると色々と問題解決につながると思う。
- ・同職種のつながりの弱さに気づけてよかった。
- ・2職種連携
- ・階層別に連携について考えられている点について非常に参考になった。
- ・災害を受けた地区の人々ならではの団結力に心を動かされた。
- ・改めて同職種間の連携の大事さに気づいたから。
- ・薬剤師会の活動が聞けてよかったです。
- ・連携が大変よくできていることに感心しました。
- ・かなりしげきを受けました。
- ・階層別の取り組みは非常に分かりやすくて良かったです。ただ、職種毎の満足度がいまひとつ上がっていない理由が気になりました。
- ・コーディネーターの有用性がよくわかった
- ・連携に関する知識が少なかったのですが、内容がわかりやすくとても勉強になりました。
- ・行政が中心になってチームを作っているのですばらしいと思います。

問4 意見交換はいかがでしたか？

意見交換会	人数
大変よかった	49
よかった	59
ふつう	7



その理由としては

- ・介護職は幅広い事業があり（訪問・通所・施設など）個々の課題が異なるが気軽に情報共有できる機会があると良い。
- ・他の事業所の方の意見を聞かせていただき大変参考になりました。
- ・セラピストの人の中でよい意見が出ていた。ぜひ実現すると良い。行政の介入も必要かも。
- ・いなべの子どものこともしっかり取り組む必要がありますね。
- ・グループでの発言でみんな同じ意見が出ていて、薬剤師との連携がなかなかできていないことを実感した。
- ・話しやすい関係性は大切だと思う。同じ立場での意見交換は悩みも似ていることもあったためよかった。
- ・どのグループも活発でとても良かったです。
- ・二次連携の動機付けと具体的な方向が共有されたと思います。
- ・同じ職種同士で話をする機会があって良かった。
- ・同職種で話し合え、実践できると良いと思いました。
- ・自分自身の立場（HPの代表）のようなものを背負って活動するため、MSWとしての基本（根っこ）を忘れずに業務にあたっていく必要を感じました。
- ・介護、看護が完全に分かれている所が私の職場でもあるので、お互いに専門職同士が尊重し合うことが、業務を遂行することが必要かと思いました。
- ・ここだけで話すだけでも、もやもやが解消されました。
- ・日頃の悩みなどを共有できて良かったです。
- ・様々な職種の思いが聞けた。
- ・職能別で話したほうが良かったのでは？特に在宅医の問題が大きく、看護師では求めることばかりになると思いました。地域の一次連携のしくみが見えない（私の認識不足もありますが）
- ・いろんな人のコメントが聞けた。家族間の問題など受け入れ側の問題もあり、難しいと思った。
- ・ケアマネとして、何が問題なのかを考える機会となった。

- ・先輩ケアマネの意見が聞けて勉強になりました。
- ・他病院、他事業所の組織としてのあり方を知るきっかけとなった。
- ・薬剤師さんとの連携ができたと思います。
- ・チームかまいしのように、場をセッティングしてくれると良いと思いました。薬剤師とリハ職とつながりたいとその思いが聞けてよかったです。
- ・普段聞けない話が聞く事ができた。
- ・他職種の人への医者への不満が良くわかった。
- ・みなさんの意見が聞けてよかったですと思う。
- ・同じ職種で他事業所の方の意見が聞けてよかった。他職種との連携をどうしたよいかなど分からないことも多いので参考になった。
- ・「事例検討会」となると硬すぎるので、ざっくばらんに好きなように思ったことを言えるグループ分けが良かった。
- ・同職種間での思いを共有できた。
- ・話しやすい雰囲気だった。
- ・地域のリハ職と交流できた。
- ・他の施設との交流ができた。
- ・グループは医療でしたが、専門職（医者だったら医者だけのグループ）だけでやれたら良かった。
- ・他の介護の方との話は大変良かったと思います。
- ・介護職は一次連携ですら難しいという意見が印象的でした。飲み会などの集まりはよく開催しているそうなので、何かサポートできればと思う。
- ・同じ悩みの相談ができてよかった。グループディスカッションができれば他職種の方と話したかったです。
- ・地域医療・福祉というと、高齢者に対してというイメージが強かったが意見交換会で小児領域の課題も知ることができた。
- ・いなべ地域の課題に気づくことができた。また、その課題に対する対策まで考えることができ、今後の考えるきっかけとなった。
- ・栄養士の数が少なく申し訳ないと思う。若い方に声かけしても、時間帯が遅いので出にくいとの意見があります。
- ・普段話すことがない事業所さんの意見を聞く事ができた。
- ・電話でしか話したことがない方と会って話すことができた。
- ・いなべ地域での現状が分かっている共働きで在宅は難しいなどの課題で話が盛り上がっていました。
- ・連携がしやすくなった。
- ・専門職内の連携の現状や、居宅対応取り組みの困難さの原因などを垣間見られたことがとても良かった。また、連携が上手くいくことになったケースのことも聞けてよかったです。
- ・同じ職種でも経験年数や事業所によって強みが聞けて良かった。もっとこの一次連携の機会を欲しいし、二次、三次とつなげていけると良いと思いました。
- ・具体的に知識のなさを知って、また今後の参考になった。第一歩から。

- ・大きなテーマで話題が雑談になってしまったところもあった。決まった人の発言でまとまった感があった。気兼ねなく話せるところは良かった。
- ・同職種でのグループワークで課題が出しやすく良かったです。今後も同じような集まりがあると相談しやすいです。
- ・他事業所のセラピストの意見を聞く事ができて勉強になりました。自分たちに何ができるのかを考える必要があると感じました。
- ・具体的な意見を多く聞く事ができた。
- ・他と連携する以前に、会の方がまとまっていないことがわかった。
- ・同職種の他の人の考えを知る事ができた。
- ・それぞれの考え方を教えていただいたので良かったです。
- ・他事業所の人の話を聞いた。
- ・テーマが大きいとか広いため意見が出にくい印象があった。
- ・課題が多く浮かび上がり、進むべき方向が分かった。
- ・同職種内でも知らないことがあることに気づくことができた。
- ・歯科医師、歯科衛生士に多く出て頂き、率直なお話が出来た。
- ・院外、地域の実情を知れたから。
- ・顔の見える関係の一步となった。
- ・現状、問題、今後の課題の話し合いができた。
- ・同じ職種の方の意見を聞く機会が今までなかったのもとても良かったです。
- ・他事業所の先生と話ができた。
- ・今までと違って具体的なテーマだったので話しやすかった。
- ・同じ職種内でも、地域の中でそれぞれ取り組んでいること、そしてかかえる課題を共有できた。
- ・他の事業所の同職種の方と関わる機会が少なかったのもその機会を持つことができよかったです。
- ・同じ職種でのあつまりだったので、普段と違い気兼ねなく話が出来た。

問5 今後、いなべ地域で取り組む階層別連携コーディネートについて、ご意見・ご要望等をお聞かせください。

- ・一次連携形成の目的・目標があると、取り組むこと自体、何をやっていくべきか分かりやすくなると思いました。
- ・あったほうがよい。
- ・一つでも多くの一次連携、二次連携ができますように。
- ・できるところから、つながったところからアクションを起こすこと。その取り組みを報告しあうこと大切だと思いました。
- ・同職種同士、もっとざっくばらんな話が出来ると良いと思った。
- ・一次連携をまず行ってほしい。
- ・課題を職種内、職種間の課題、地域全体の課題に分類して解決につなげる手法が参考になった。
- ・連携拠点（チームかまいし）をいなべ市にも明確に位置づける必要があると思う。

- ・「一次連携をベースにして、二次連携で協働となっていく」とても参考になった。自分たちの職種で行える取り組み、現状と課題について話し合ってみたくと思います。
- ・居宅介護サービス事業所としての関わりが、今いよくわかりません。介護職としての立場はどう思われますか？
- ・病院の職員はもっと地域のことを知るべき。地域のケアマネさんが病院の中のことを知ってもらうような研修を行えると良いと感じました。
- ・小田島さんの若い方の引き上げ・・・は共感できます。
- ・大変分かりやすかったです。
- ・職能団体どうしが意見を交わし、すり合わせができると連携がスムーズにできるのではないかな。
- ・歯科医師会が「桑員」なので、桑名市とも連携を進めるようにしてしてもらいたい。桑名市は行政の活動が弱く感じるの。
- ・職能同士による顔の見える関係づくり、今後ぜひ取り組んで欲しいと思います。
- ・多職種及び同職での「顔合わせ」の場が出来ると良いなと思う。
- ・薬剤師、歯科衛生士さんが何をしているのか分からないので連携できたらと思います。
- ・人口規模は釜石と似ているため、倣ってやることは可能ではないかと思う。
- ・以前働いていた地域では、医療職向けの介護知識研修、介護職向けの医療知識の研修があり、勉強になった。
- ・まず、一次連携の土壌づくりとタネまきのための取り組みをしてみても。
- ・改めて階層別の連携について考える機会となりました。
- ・介護福祉士会などができるようになったらいいなと思います。
- ・各施設毎の人員の少なさがネックですね。行政の方々のお力をお借りできたらうれしいです。
- ・とてもいいと思いました。ぜひ参加したいです。
- ・医師の話し合いの場が必要と思われま。
- ・薬剤師の参加者が少ないため、もう少し増えると良いと思う。あまり難しく考えすぎなくても良いようにしてハードルを下げると良い？
- ・薬剤師としてやらなければならないことが多い。
- ・発表にあった一次連携の職能団体ごとに課題を抽出、分類し「フィードバックする」ことで職種間の気づきと課題の共有の促進はぜひやってもらいたいと思いました。また、各施設の代表の意見だけでなく、その下の立場の人の意見も聞いてもらいたい。
- ・病院勤務をしていると、取り組みの存在自体を知らない人も多いと思う。連携コーディネートを周知していくことが必要かと思いました。
- ・行政の方達と歯科医師会で意見交換ができるといいと思います。コーディネートにも歯科医師会内での温度差を少なくできると良いです。
- ・口腔内の不都合の具体的な内容をもっと拾いたい。
- ・まずはやりやすい所からやっていけばいいと思う。温度差もあるだろうし。
- ・連携に積極的に参加していきたい。
- ・まずは1次連携構築のための同職種間（リハビリ）の連携が必要だと思っていますが、現状では具体的に誰が主になってそれを取りまとめていくかがわからない状態のため、行政からの働

きかけも必要なのかと思います。在宅リハにおいて、二次連携として薬剤師、医師等ともっと意見のつき合わせができると理想的だと思います。

- ・一次連携、二次連携・・・とまず行政主導できっかけを作っていただき、各団体の主体性も大切にしながら、地域包括ケアシステムがこのいなべ市でも進んでいくことを望んでいます。自分のできることであれば協力もしていきたいと思っています。
- ・まずコーディネーターをやる人をしっかりと決めることが大切。
- ・いなべ市は三重県の中でも連携を頑張っていると思います（三重県の他の地区に比べとても進んでいると思います）。このような会に参加できてとても勉強になりました。

問6 本研究会へのご意見・ご要望等をお聞かせください。

- ・委員をはじめ、ご関係者さま、いつもありがとうございます。
- ・司会、書記がいませんでした。
- ・事例で専門職の意見が聞きたいと思いました。
- ・多職種連携までのステップとして、職種内、職種間をうまく使えると良い。
- ・今後もよろしくお願いします。
- ・話し合いの時間を短くして、発表の時間を長く取って欲しい。
- ・チームかまいしの取り組みを参考にしながら、いなべ市内でできることを考えていきたいと思っています。
- ・次回も参加させていただきたいと思う。
- ・アドバンスケアプランニングについて。最期の過ごし方や、もしもの時のためにと、利用者と話すきっかけ、皆さんがどうやっているのか知りたい。
- ・30分早めの開催はいかがでしょうか。
- ・いつも駐車場が足りなく困ってします。駐車場をたくさん確保お願いします。
- ・本日の専門職グループの討議の進め方が大変良かった。
- ・ありがとうございました。
- ・研究会の時間、曜日を早い時間、休診日にも開催してほしい。
- ・いつも勉強させていただき、ありがとうございます。
- ・ややメンバーに偏りがあったので、リハでも、病院、通所、訪問などいろんな人と意見交流ができたらうれしいです。
- ・研修の段階から、より具体的な活動につながるような会になると良いと思います。ありがとうございました。